

10 事故・不祥事への対応、個人情報保護について

○ 事故・不祥事への対応、個人情報保護

- (1) 募集開始の日から起算して過去3年間の重大な事故又は不祥事の有無並びに事故等があった場合の対応状況及び再発防止策構築状況について記載してください。

申請開始の日から起算して過去3年間の重大な事故又は不祥事に該当する事案はありません。なお、重大な事故又は不祥事には当たりませんが、以下の3件の事案については、以下に記載し報告します。

① 外部からのサイバー攻撃について

令和6年12月1日未明に財団サーバが外部からのサイバー攻撃を受け、サーバーに保管していたデータが暗号化され使用不能になるなど財団の情報システムは大きな被害を受けました。サイバー攻撃直後から、セキュリティ対策の観点に鑑み、外部とのインターネットを介した通信を遮断するなど対応しました。日常の業務上では困難を極めましたが、施設利用を休止することなく運営できました。

現在は、暫定的ながら相当のセキュリティを施した端末を新たに配備するなど、外部との通信を確保し、不自由な中でも通常の業務に対応しています。また、並行して、強固なセキュリティ対策を施した新たなシステムの構築に向け、外部有識者も交えて鋭意取り組んでいます。今回のような被害を繰り返し受けることがないように、これまで以上に万全なセキュリティ対策を構築していきます。

② 令和6年度における労働基準監督署からの指摘とその対応について

財団本部と県民ホールの両事業所を対象に、令和7年1月に受けた労働基準監督署の調査の結果、支給額が確定している年俸額のうち一部を割増賃金の基礎となる賃金に算入していないこと、労働者各人別に賃金台帳に、深夜労働時間数を記入していないものがあることなどについて同年3月21日までに是正するよう、是正勧告書等を受け取りました。

財団では、是正勧告を受けた事項に対し、職員代表を交えた検討、及び顧問社会保険労務士等とも相談の上、具体的是正・改善内容を「是正報告書」としてまとめ、3月21日に労働基準監督署に提出しています。

そして、これまで支給した割増賃金と法令に則って支給すべきであった割増賃金との差額について、労働基準法における時効の考え方に準じて、3年間に遡及し、同年4月30日に追加支給しました。

なお、今回の不適切な対応における責任に対し、現専務理事と前専務理事が減給処分（減給1/10・1か月分）に相当する給与の自主返納、事務局長に対して文書訓戒の処分を行いました。

③ 令和7年度における労働基準監督署からの指摘とその対応について

令和4年度における業務多忙化による100時間超の時間外労働が発生した件について、令和6年度の労災申請後に行われた労働基準監督署の調査の結果、令和7年5月9日、いわゆる36協定に定める延長することができる時間（1箇月70時間）を超えて、1箇月について100時間以上になったことなどについて即時に是正するよう是正勧告書等を受け取りました。また、長時間労働の発生原因や再発防止対策などについて同年6月9日までに報告することや心の健康づくり計画の策定などを求められており、今後、職員が

ら構成される衛生推進の会をはじめ財団全体で議論を深めて、二度とこのような長時間労働が発生しないような環境をつくりあげていきたいと考えています。

なお、100時間超の時間外労働をさせた件については、令和5年6月14日付けで当時の専務理事、県民ホール館長等に対して、文書訓戒、口頭訓戒等の処分を行っています。

(2) 個人情報保護についての方針・体制、職員に対する教育・研修体制及び個人情報の取扱いの状況について記載してください。

1) 個人情報保護についての方針と体制

■ 方針

財団では、個人情報を取り扱うにあたり、「個人情報の保護に関する法律」、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」及びその他の関連法令、ガイドライン、「知事における個人情報の保護に関する法律施行細則」及び財団の「個人情報保護方針」を遵守します。

■ 体制

個人情報保護統括責任者：事務局長

個人情報保護責任者：芸術劇場副支配人、音楽堂館長、事務局次長

2) 職員に対する教育・研修体制

① 教育・研修等

・ 個人情報を扱う職員は、(一財)日本プライバシー認証機構の個人情報管理者資格 (CPP 又は CPA) の資格を取得し、毎年資格更新研修を受講しています。

・ 定期的に個人情報保護に関する研修を行っています。

・ 財団内でのヒヤリハット事例を共有し、日常の業務に活かしています。

・ 関連する法律、ガイドラインなどの最新情報を共有しています。

② 取扱状況

※全般として、クラウドサービスの導入による高いセキュリティ体制の確立、クラウドサービスによる個人情報使用ツールの一部更新、より確実に個人情報保護を行うことができる IT 環境の再構築を行います。

・ 利用者の個人情報等

利用者の情報は、施設予約システムで管理しています。申請書等の控えなどの文書類は、施錠できるキャビネットで保管しています。

・ 出演者等の個人情報

出演者等の個人情報などは、今後、セキュリティが確保されたクラウド上のプラットフォーム内にアクセス権限が設定されたエリアを構築して管理を行う予定です。

・ 職員及び出演者等のマイナンバー

マイナンバーは、内部統制機能 (ログ管理、アクセス制御、パスワードの桁数、有効期限) を備えた専用ツールで取り扱っています。

・ Kame 会員情報

チケットかながわで購入した顧客データである KAmE 会員情報は、外部サーバ (チケット販売システム Gettii) に保管され管理されています。さらに権限付与を整理し、顧客情報が適正に管理できるよう運用ポリシーを整備し、これを遵守していきます。

11 これまでの実績について

○ 管理運営の実績

(1) これまでの管理運営等の実績の状況について記載してください。

1) 管理運営等の実績の概要

財団は、平成5年の財団設立以来、県民ホール（平成6年度～）、音楽堂（平成7年度～）、芸術劇場（平成22年度～）の3つの県立文化施設について、神奈川県からの管理運営受託もしくは指定管理という枠組みのもと、当初から芸術監督制を採用し、専門性の高い人材を雇用し、文化県かながわを体現する独自企画の実施と効率的な施設運営に力を尽くしてきました。また、現在では文化庁/芸文振の「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」の採択館となり、特に県民ホールと芸術劇場は、全国で16館のみが採択される総合支援館のひとつとして5カ年の支援を受けるなど、県域を越えた拠点文化施設として期待され、その役割を担ってきました。今後も、引き続きその役割が期待されています。

第4期指定管理期間において、特筆すべき実績として、新型コロナウイルス感染症への対応があります。令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行されるまで、同感染症拡大に伴う神奈川県の基本対処方針に基づき、国の緊急事態措置又はまん延防止等重点措置等に応じた対応を実施するとともに、様々な感染対策を徹底し、施設の運営に当たりました。公演事業において、陽性者が発生した際には、感染対策マニュアルやフローチャートに沿って都度迅速に対応し、クラスターを発生させることなく、影響を最小限にとどめながら事業継続できるよう尽力し、また芸術劇場においてはオンライン配信も組み合わせながら、鑑賞機会の確保に取り組み続けました。その結果として、鑑賞機会の提供を続け、また高い施設利用率を維持することができました。5類移行後には、安全・安心に観劇ができる環境を維持する基本的な感染対策を続けつつ、本来のにぎわいを取り戻すための運営を続けてきました。

2) 館ごとの特筆すべき実績

第4期指定管理期間のうち、令和3年度から6年度における、特筆すべき実績について記載します。

冒頭に、3館の主催事業等に関する受賞歴をまとめて記載します。これらは、3館の活動が客観的な視点から高い評価を受けたものであり、まさに特筆すべき実績と考えます。

■ 3館の主催事業等に関する受賞歴

(県民ホール)

第31回三菱UFJ信託音楽賞	受賞作品：「浜辺のアインシュタイン」 (令和5年10月上演)
第35回ミュージック・ペンクラブ音楽賞	受賞作品：「浜辺のアインシュタイン」 (令和5年10月上演)

(芸術劇場)

第29回読売演劇大賞 優秀演出家賞	受賞者：岡田利規 受賞作品：「未練の幽霊と怪物-『挫波』『敦賀』-」 (令和3年6月上演)
----------------------	-----------------------------------------------------

第 25 回鶴屋南北戯曲賞	受賞者：岡田利規 受賞作品：「未練の幽霊と怪物-『挫波』『敦賀』-」
第 30 回読売演劇大賞 優秀作品賞	受賞作品：「ライカムで待っとく」 (令和4年11~12月上演)
第 74 回読売文学賞 戯曲・シナリオ賞	受賞者：山内ケンジ 受賞作品：「温暖化の秋-hot autumn-」 (令和5年11月上演)
令和5年度地域創造大賞 (総務大臣賞)	受賞施設：KAAT 神奈川芸術劇場
第 32 回読売演劇大賞 大賞・最優秀男優賞	受賞者：木場勝己 受賞作品：「リア王の悲劇」(令和6年9~10月上演)
第 59 回紀伊國屋演劇賞 個人賞	受賞者：那須凜 受賞作品：「品川猿の告白 Confessions of a Shinagawa Monkey」(令和6年11~12月上演)
令和6年度芸術選奨 演劇部門・文部科学大臣新人賞	受賞者：藤田俊太郎 受賞作品：「リア王の悲劇」
令和6年度芸術選奨 芸術振興部門・文部科学大臣賞	受賞者：丸岡ひろみ 受賞対象：これまでの横浜国際舞台芸術ミーティング (YPAM) の功績
2025 CATS (Critics Awards for Theatre in Scotland /スコットラ ンド演劇批評家協会賞) 「最優秀デザイン賞」「最優秀技 術賞」「最優秀アンサンブル賞」 「卓越した演技賞」	受賞作品：「品川猿の告白 Confessions of a Shinagawa Monkey」(令和7年2~3月のスコットランドでの上演に 対して)

(音楽堂)

第 21 回佐川吉男音楽賞 奨励賞	ファビオ・ビオンディ指揮 エウローパ・ガランテ ヘンデル「シツラ」日本初演 (令和4年10月上演)
----------------------	---------------------------------------------------------

県民ホール

① 神奈川県下における自主制作事業の上演実績

以下のように、県下で子ども向けオペラや神奈川県美術展の巡回展を実施してきました。